



～ 皆さんは火の見櫓をじっくりと眺めたことはありますか？～

全国各地で地域防災の要として集落の安全を見守り続けてきた火の見櫓。今では防災無線などにその役割が取って代われようとしています。その凛とした立ち姿からは、今もなお地域コミュニティと密接に繋がる存在感があります。

案内人を務める平林さんはそんな火の見櫓の魅力に憑りつかれた、通称“火の見ヤグラ”のおひとり。信州にとどまらず全国各地の火の見櫓を観察して回り、その立ち姿などから火の見櫓のタイポロジーを行いながらも、一基ごとに個性豊かな火の見櫓を愛で続けています。

今回はいつもと趣を変えた「ココブラ学舎」。前半は火の見櫓の魅力を探る座学講座を実施し、後半は実際に集落に立つ火の見櫓の観察に出かけ、リアルな立ち姿に直接触れてその奥深さを堪能します。

火の見櫓本を片手に、火の見櫓を観察する。
ぜひ皆さんも魅惑の“火の見ヤグラ”の世界を覗いてみましょう

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 **要会員登録**

日時 12月1日 9:30～12:30

集合 碌山公園研成ホール 駐車場は出来るだけ奥（南側）のスペースをご利用ください。

定員 15名

参加費 2,500円 アキスト「あ！火の見櫓」の代金を含む。本を既に所持の方は参加費が700円となります（1部追加で持ち帰る人も可。前ご家族2名まで参加の場合は500円+700円+3,200円の参加費）。本をお持ちの方は当日必ずご持参ください。保険料を別途。

申込み 11月15日～11月30日

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 **要会員登録**
<http://cocobura.jp/course/1858/>